

2023モロッコ中部地震

TMAT 災害医療活動報告

2023 年 9 月 13 日 8:00

第 1 報

9 月 9 日

日本時間午前 7 時頃（現地時間 8 日深夜）にトモロッコ中部の都市マラケシュから 70 キロほど離れた内陸部を震源とする、M6.8（深さ 18.5Km）の地震の発生。

13:00 頃 死傷者数が 700 名近くに上り、負傷者数も 330 名ほどとの報道あり。深夜での災害であったため、明け方より死傷者数はさらに増えることが予想されるため、先遣隊派遣を視野に準備と情報収集を開始。

9 月 10 日

12:00 頃 死者数が 2000 人近くにのぼり、震源地は山岳部のため到達までに時間を要し、いまだ瓦礫に取り残されている人々が多数いるとのことでさらなる被害の拡大が予想される。現地ニーズ調査のため先遣隊を派遣する方向で調整開始。

9 月 11 日

8:00 TMAT 理事長と協議し先遣隊の派遣を決定。

メンバーは以下の通り

坂元 孝光 医師（福岡徳洲会病院所属）

久保山 貴史 看護師（福岡徳洲会病院所属）



左から坂元医師、久保山看護師

9月12日

6:30 メンバーは羽田国際空港に集合し 9:00 羽田空港発の AF163 にて経由地パリへ向けて出発。

以下現地時刻

16:00 トランジットのためフランス（パリ国際空港）へ到着。

21:00 パリ国際空港から AF1776 にてモロッコのマラケシュに向けて出発。

23:30 マラケシュ空港へ到着。空港には目立った被害は確認されなかった。現地コーディネーターと合流し、今後の予定についてミーティングを実施。

宿舎へ到着し、本日の活動は終了とした。先遣隊2名の体調に問題はありません。

明日より現地コーディネーターと相談しつつ情報収集活動を開始する。

現地は通常の携帯電話の使用ができ、現地メンバーとの連絡は問題なし。余震など安全面にも十分に配慮して活動をしてまいります。

尚、現地在住の日本人、現地に派遣されている JDR や日本 NGO 団体ともコンタクトを取り今後連携して活動していく予定

事務局担当

野口 幸洋 （NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部）

阪木 志帆 （NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部）

文責 事務局 野口 幸洋